



一本道

山田小学校通信No.17

令和8年9月24日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 祖父母参観、たて割り班で共に遊びを楽しむ

9月24日、祖父母参観を行いました。ここ数年、諸事情で開催を見送っており、久しぶりの開催でした。そのため、何人の祖父母や保護者・地域の皆様が参加されるか心配しておりましたが、なんと約50人の皆様の参加があり、大変ありがたかったです。子供たちや祖父母等の皆様は、16のたて割り班に分かれて、約1時間、共に遊びを楽しみました。子供たちが考えた遊びは、「福笑い」「お手玉」「新聞じゃんけん」「風船バレー」の4種類でした。祖父母等の皆様、子供たちと共に遊んでいただきながら、たくさんの笑顔と元気を届けていただき、本当にありがとうございました。



2 ミシンの授業、なんと7名が先生！

9月18日、5年生が家庭科でミシンの授業を行いました。単元のゴールは「自分だけのナップザックを作ろう」で、今日、ミシンを初めて使用しました。6つ班にミシンが2台ずつありますが、これを家庭科の井上先生1人で教えるのは、なかなか大変です。そこで、「学校支援サポーター」の皆様6名に来校いただき、各班に1名ずつついて支援していただきました。今日は、「から縫い」でしたが、スピードを少し早めて縫ったり、返しレバーを使って縫ったりと、ずいぶん上達しました。先生が7名いると、見

ていて安心ですし、上達も早いです。6名の学校支援サポーターの皆様、ありがとうございました。



3 将来の先生の卵、授業を見て「ごうかーく！」

9月17日、5年1組で算数の授業をしていたのは、担任の橋本先生ではなく、教育実習生の西川ゆりあさんでした。教室に入り10分ほど参観しましたが、「テンポ」「端的な指示」「子供の学習活動の確保」そして「笑顔」と、なかなかよい授業をしていました。放課後、校長室で、「ごうかーく！」と言い、よかった点を伝えました。5年担任の橋本先生を中心に、多くの先生から、授業力や学級経営力、子供との関わり等、多くのことを学んでいるところです。「将来の先生の卵」であり、山田小学校出身ということもあり、より深い思いで、先生方も関わってもらっています。4週間の教育実習期間で、大学での学びの2倍、いや3倍以上の学びを得ながら、「先生になりたい！」気持ちを更に高めてほしいです。

